スポーツ・フォー・トゥモロー等推進プログラム ポストスポーツ・フォー・トゥモロー推進事業

1. 創設年度:

平成26年度(~令和3年度) スポーツ・フォー・トゥモロー等推進プログラム 令和4年度 ポストスポーツ・フォー・トゥモロー推進事業

2. 令和3年度予算額(スポーツ・フォー・トゥモロー等推進プログラム): 6. 2億円令和4年度予算額(ポストスポーツ・フォー・トゥモロー推進事業): 1. 8億円

3. 事業概要

2013 年の IOC 総会における東京大会招致プロセスにて、安部総理(当時)がスポーツ・フォー・トゥモロー(SFT)構想を発表し、東京が開催都市として決定したことを受けて、SFT プログラムを着実に進めることが国際公約となった。以後、東京大会の開催国として1年の延期を含め8年間取り組んできた「スポーツ・フォー・トゥモロー等推進プログラム」は、昨年度で終了した。

今年度においては、そのプログラムの中でもレガシーを発展させるために真に必要な事業に限定して予算を計上し、国際的に日本のスポーツの存在感を示すとともに、国際的な課題である持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献するため、官民協力による取組を先導し、成果を国内還元する「ポストスポーツ・フォー・トゥモロー推進事業」を実施する。〈委託〉

4. 選定理由:オ(その他公開の場で外部の視点による点検を行うことが有効と判断されるもの) 後継事業として「ポストスポーツ・フォー・トゥモロー推進事業」を実施することについて、 外部の指摘を踏まえ、今後よりよい事業の展開を目指すことが重要であるため。

5. 想定される論点

- ・旧事業の成果・効果はどうだったか。どのようなプロセスで今後の事業展開等を検証したか。 検証結果はどうだったか。
- 後継事業として、これまでの事業成果指標を継続することが適切かどうか。

※ 主な成果指標

【目標数値:100か国、1000万人への裨益】

- ・「スポーツ・フォー・トゥモロー等推進プログラム」の内、「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラム実施による裨益者数:2014~2021年の累積(1300万人)
- ・「スポーツ・フォー・トゥモロー等推進プログラム」の内、「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラムが実施された国・地域の数:2014~2021年の累積(204か国・地域)(令和4年度以降)
 - ・「ポストスポーツ・フォー・トゥモロー推進事業」実施による裨益者数
 - 「ポストスポーツ・フォー・トゥモロー推進事業」実施により交流した国・地域数

スポーツ庁

ポストスポーツ・フォー・トゥモロー推進事業

事業趣旨·目的

2020年東京大会の開催国として、スポーツを通じた国際協力及び交流等に官民協力で取り組んできた「スポーツ・フォー・トゥモロー(SFT)」プログラムによるレガシー(裨益者数:204か国・地域、約1,200万人)を発展させ、国際的に日本のスポーツの存在感を示すとともに、国際的な課題である持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献するため、官民協力による取組を先導し、成果を国内還元する「スポーツ・フォー・トゥモロー・ネクスト(仮称)」プログラムを実施する。

事業概要

2024パリ大会や2026年アジア競技大会(愛知・名古屋)に向け、スポーツを通じた日本のプレゼンスの発揮、国内外のSDGs目標達成への貢献のため、オリパラレガシーとしてのポストSFT事業を推進。一貫したメッセージを発信し、各団体の活動を支えるためのSFTネットワーク活動を推進し、スポーツ国際協力に必要な官民協力体制を構築するとともに、日本の学校体育の知見共有やNF/JOC・JPC連携(アーバンスポーツ・バーチャルスポーツ等)、スポーツを通じたジェンダー平等や共生社会の実現にかかる取組、パラスポーツ支援など日本の強みを生かしたSFTレガシーリーディング事業を実施する。

件数:1箇所×約1.8億円(予定)

事業期間:令和4年度~令和8年度(予定)

活動目標

- 世界中の国々を対象に、新たにあらゆる人々700万人への裨益を目標に、スポーツを通じた国際交流・協力を推進する。
- SFTの取組みを国内還元し、スポーツを通じた社会課題解決等のスポーツSDGsの取組に貢献する。(オリパラレガシーとしてのSFTの国内還元)

国 (スポーツ庁)

委託

民間団体

国内動向・国際的潮流とSFTレガシー

SDGsアクションプラン

国内動向

- SDGs達成に向けた 取り組みの遅れへの懸念
- 行動の10年

2021

経済と環境の好循環のある ウィズ・コロナ、ポスト・コロナの 時代実現のための社会全体 の行動変容

国際的潮流

国内スポーツ

JSC

JOC

NGO/

NPO

関連団体

MINEPS VIカザン行動計画

運営委員会

大学

258-シアム

●スポーツにおける国際的重要 課題の議論と実行指向型の提言

スポーツ庁

JSPO)

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ

Society 5.0 と デジタルトランスフォーメーション

革新的イノベーション

カーボンニュートラル

地方創生

包摂的社会

スポーツ・フォー・オール

持続可能な開発と平和のための スポーツ

スポーツ・インテグリティの保護

JICA

連団体

民間

国際大会組織委

JADA

継承すべきSFTレガシー

スポーツを通じた健康増進・体力向上

クリーンでフェアな世界の実現

スポーツを通じた地域社会再生・地域活性化

スポーツを通じた人材育成・人的交流

共生社会の実現 (ダイバーシティ) ジェンダー平等・青少年の参加

○ スポーツ×人材育成・人的交流





○ スポーツ×地域社会再生(環境・防災・復興)





政策・施策・事業整理票

スポーツ庁

政策

政策目標	11 スポーツの振興
概要	世界共通の人類の文化の一つであるスポーツを国民の成熟した文化として一層根付かせ豊かな未来を創るとともに、全ての人々がスポーツの力で 輝き、前向きで活力ある社会と、絆の強い世界を創る。



施策 ※令和3年度事前分析表より転記

<u>施策の概要及び達成目標のどこを達成しようとしているのか分かるよう、該当部分を**下線・太字で表記**する。</u>

<u>達成目標のうち、**当該事業が具体的にどの達成目標にあたるのか分かるよう、該当部分を灰色に塗りつぶす**。</u>

施策目標	11-2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現
施策の概要	社会の課題解決にスポーツを通じたアプローチが有効であることを踏まえ、スポーツを通じた共生社会等の実現、経済・地域の活性化, 国際貢献に積極的に取り組む 。
達成目標 1	障害者スポーツの振興等、スポーツを通じた健康増進、スポーツを通じた女性の活躍推進を図ることで、スポーツを通じた共生社会 等の実現を図る。
達成目標 2	スポーツを通じた経済・地域の活性化を図る。 【新経済・財政再生計画改革工程表2020関連施策】
達成目標 3	スポーツに係る国際的な政策・ルール作りに積極的に参画し、また国際規模の大会を成功させレガシーとして継承することで、スポーツを通じた国際社会の調和ある発展に貢献する。



事業 ※令和3年度レビューシートより転記

施策の達成目標と当該事業の目的・事業概要の関連を整理し、また当該事業の成果と上位施策との関係を明確にする。

当該事業の目的・概要・アウトカム・アウトプットのうち、どこが特に関連しているか分かるよう、該当部分を**下線・太字で表記**する。

事業名	スポーツ・フォー・トゥモロー等推進プログラム
	東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催国として、世界の国々との交流・協力関係を築きながら、スポーツの価値をさらに高めようとする国際的な取組に貢献するため、スポーツを通じた国際協力及び交流、国際スポーツ人材育成拠点の構築、国際的なアンチ・ドーピング推進体制の強化支援を柱とする「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラムに取り組むとともに、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを日本全国へ波及させるための取り組みを実施する。

- (1) スポーツ・アカデミー形成支援事業(平成26年度(2014年度)~令和2年度(2020年度))
- ・ I O C 、 J O C 、 N O C 、体育系大学等が連携して、オリンピズムの普及とスポーツ医科学研究の推進を図るため、 I O C 関係者等を教員等として招聘、国際的なスポーツ界での活躍が期待される人材の受入れ・養成を行う中核拠点を構築する。
- (2) 戦略的二国間スポーツ国際貢献事業 (平成26年度(2014年度)~令和3年度(2021年度))
- ・学校体育カリキュラム等の策定支援など、途上国のスポーツ環境の整備に協力する。
- ・官民連携協力によるスポーツの国際協力コンソーシアムを構築し、各国の協力要請に迅速かつ的確に対応する。
- (3) 国際アンチ・ドーピング強化支援事業 (平成26年度 (2014度) ~令和3年度 (2021年度))
- ・アンチ・ドーピング活動が遅れている国へのドーピング防止教育・研修パッケージの導入・普及、人材育成支援、それらを支える研究開発、国際会議・シンポジウムの開催等を通じて、世界のスポーツにおけるドーピングの撲滅に貢献する。
- ・アジアのドーピング防止活動の発展を促進するため、「アジア・ドーピング防止基金」に対し、資金を拠出する。
- (4) オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業 (平成28年度 (2016年度) ~令和3年度 (2021年度))
- ・オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを全国に波及させ、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に資するため、オリンピック・パラリンピック教育を全国に展開する。また、実施にあたっては、先行して取組を行っている東京都や、東京2020大会組織委員会が行う教育プログラム(ようい、ドン!)との連携を密に行う。
- ・全国的なコンソーシアムとして、「オリパラ教育全国中核拠点」を設置し、オリパラ教育セミナーの開催等各地域の取組を支援する。
- ・道府県等教育委員会に委託を行う「オリバラ教育地域拠点」を設置し、各地域拠点で特色あるオリバラ教育を実施する。
- (5) スポーツ・デジタルアーカイブ構想調査研究事業

事業概要

- ・映像資料等を活用したスポーツに関する教育研究の促進や、東京大会の映像等に係るデジタル・アーカイブの構築に資するため、過去のオリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとする国際競技大会等に係る資料のアーカイブ化・ネットワーク化に関する調査研究を行う。
- ※(5)は平成30年度から、スポーツ・デジタルアーカイブネットワーク構想事業(平成30年度(2018年度)~令和2年度(2020年度))
- ・映像資料等を活用したスポーツに関する教育研究の促進や、東京大会の映像等に係るデジタル・アーカイブの構築に資するため、過去のオリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとする国際競技大会等に係る資料のアーカイブ化・ネットワーク化の推進と、各機関間のネットワーク 化及びその後の利活用の推進に向けたガイドラインを作成する。

	1		2014年から2020年までの7年間で、開発途上国を始めとする100か国以上、1000万人以上のあらゆる世代 の人々にスポーツの価値とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げていく。
		成果指標	2014~2020年の間の「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラム実施による裨益者数(人数における成果 指標)(累積)
		,	2014年から2020年までの7年間で、開発途上国を始めとする100か国以上、1000万人以上のあらゆる世代 の人々にスポーツの価値とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げていく。
アウトカム	2	成果指標	2014〜2020年の間の「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラムが実施された国の数(国数における成果指標) ※7月末に令和2年度実績確定
		/===::5	オリンピック・パラリンピック教育を展開することで、全国的にオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを推進する。
	3	成果指標	「全国体力・運動能力、運動週間等調査」において、「オリンピック・パラリンピックを日本で行うこととなりましたが、あなたの今の気持ちに当てはまるものを全て選んでください。」との問中「試合を見に行ってみたい」と回答した児童生徒数 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査未実施
		(1)	【スポーツ・アカデミー形成支援事業】 スポーツ・アカデミーの形成数
		(2)	【戦略的二国間スポーツ国際貢献事業】 スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアムの会員数
アウトフ	プット	(3)	【国際アンチ・ドーピング強化支援事業】 国際会議の主催数

	(4)	【(平成27年度)オリンピック・パラリンピック・ムーブメント調査研究事業)】【(平成28年度~)オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業】 地域でのオリパラムーブメント推進を行うための地域コンソーシアム形成数
	(5)	【スポーツ・デジタルアーカイブネットワーク構想事業】 ネットワーク参加機関数
本里辛の応申		「において、「スポーツは、人種、言語、宗教等の区別なく参画できるものであり、国境を越え人々の絆を育 「際交流により、「多様性を尊重する世界」の実現に貢献する」とされている。また、2013年9月、ブエノス

の関係

アイレスでのIOC総会における総理による2020東京大会招致スピーチにおいて、2020年までに100か国10,000,000人の裨益者数達 成を指標としている。

政策・施策・事業整理票

スポーツ庁

政策

政策目標	11 スポーツの振興
概要	世界共通の人類の文化の一つであるスポーツを国民の成熟した文化として一層根付かせ豊かな未来を創るとともに、全ての人々がスポーツの力で輝き、前向きで活力ある社会と、絆の強い世界を創る。



施策 ※令和3年度事前分析表より転記

施策の概要及び達成目標のどこを達成しようとしているのか分かるよう、該当部分を**下線・太字で表記**する。

<u>達成目標のうち、当該事業が具体的にどの達成目標にあたるのか分かるよう、該当部分を灰色に塗りつぶす。</u>

施策目標	11-2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現
施策の概要	社会の課題解決にスポーツを通じたアプローチが有効であることを踏まえ、スポーツを通じた共生社会等の実現、経済・地域の活性化,国際貢献に積極的に取り組む。
達成目標1	障害者スポーツの振興等、スポーツを通じた健康増進、スポーツを通じた女性の活躍推進を図ることで、スポーツを通じた共生社会等の実現を図る。
達成目標 2	スポーツを通じた経済・地域の活性化を図る。 【新経済・財政再生計画改革工程表2020関連施策】



事業 ※令和3年度レビューシートより転記

施策の達成目標と当該事業の目的・事業概要の関連を整理し、また当該事業の成果と上位施策との関係を明確にする。

<u>当該事業の目的・概要・アウトカム・アウトプットのうち、どこが特に関連しているか分かるよう、該当部分を**下線・太字で表記**する。</u>

事業名	ポストスポーツ・フォー・トゥモロー推進事業
事業の目的	2024オリパラパリ大会や2026年アジア競技大会(愛知・名古屋)に向け、2020年東京大会の開催国として、スポーツを通じた国際協力及び交流等に官民協力で取り組んできた「スポーツ・フォー・トゥモロー(SFT)」プログラムによるレガシー(裨益者数:204か国・地域、約1,200万人)を発展させ、国際的に日本のスポーツの存在感を示すとともに、国際的な課題である持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献するため、官民協力による取組を先導し、成果を国内還元するポストスポーツ・フォー・トゥモロー事業を推進する。
事業概要	(1) 国際協力コンソーシアム(SFTコンソーシアム)のネットワーク継続・発展 ・SFT事業を通じて構築したネットワークを維持・発展させるため、国内会員/一般向けのプラットフォームを更に充実させると ともに、国際スポーツ界等への成果発信を通じて対外的な日本のプレゼンスの向上を図る (2) SFTレガシーリーディング事業 ・NF/JOC・JPC連携事業の支援により、各国競技団体間の協力強化を推進する ・スポーツを通じたジェンダー平等や多文化共生社会の実現にかかる取組により、社会課題の解決に貢献する 等の日本の強みを生かした事業を推進

	1)	定量的な 成果目標	世界中の国々を対象としたスポーツを通じた国際交流・協力の推進
- +11,		成果指標	「ポストスポーツ・フォー・トゥモロー」事業実施による裨益者数(累積)
アウトカム	②	定量的な 成果目標	世界中の国々を対象としたスポーツを通じた国際交流・協力の推進
	2)	成果指標	「ポストスポーツ・フォー・トゥモロー」事業実施により交流した国・地域数
アウトフ	プット	(1)	国際協力コンソーシアムの会員数
7 7 11 2	/	(2)	SFTレガシーリーディング事業による裨益者数
本事業の成 果と上位施 策との関係			

事業番号 2021 - 文科 - 20 - 0339

				<u>事業番号</u>	2021 –	文科 - 20	- 0339
			令和3年度	行政事業レビ <u>-</u>	ューシート(文部科	学省)
事業名	スポーツ・フ	オー・トゥモロ	一等推進プログラム	担当部局庁	₹ スポーツ庁		作成責任者
事業開始年度	平成27年		業終了	F度 担当課室	オリンピック・パラ		オリンピック・パラリンピック課長 勝又 正秀
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	_			関係する 計画、通知	スポーツ立国戦 2020年東京オ 準備及び運営 (平成27年11月		日策定) パラリンピック競技大会の を図るための基本方針
主要政策·施策	2020年東京	オリパラ		主要経費	文教及び科学振	興	
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	取組に貢献す	^ト るため、スポー	-ツを通じた国際協力及び	「交流、国際スポーツ人	オ育成拠点の構築、国	際的なアンチ・ドーピング	さらに高めようとする国際的な 「推進体制の強化支援を柱とす せるための取り組みを実施す
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	なス(2) 学校に (3) エポーツ (2) 学校に (3) エポーツ (4) 学校 (5) エポーツ (6) デルンウン (7) アポンウン (7) アルン (7)	で国門は、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学で	時される人材の受入れ・東京れる人材の受入れ・東京都事業(平成26年月野定など、途上国の、学に上国の、学に大田の関係協力平成26年で、一次の国援事第への一におけるので、一次のの大部はのので、一次の一次が一次が一次が一次が一次が一次が一次で、一次で、一次で、一次で、一次で、一次で、一次で、一次で、一次で、一次で、	様成を行う中核拠点を構 (2014年度)~令を難価は で、2014年度)~令整備に減 で、2014度)。今和3年度 で、2014度)。令和3年度 で、3014度)。令和3年度 で、3014度)。令和3年ので で、3014度)。令和3年ので で、3014度)。令和3年ので で、7014度)。で、4014度 で、7014度)で、4014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014度 で、7014 で、7014度 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で、7014 で 7014 で 7014	築する。 度(2021年度)) 協力要請に迅速かつ的研究 (2021年度)) 一ジの領入・普及、 大する。 上に令和3年度(2020年度)・パラリンピック競技大・ がある。 年度)~の力が、 年度(2020年度)・パラサーの引が、 が数拠、等に、係るデンタルに別 像等に、係るデンタルに第年 (後等に係るデジタル・ア	権に対応する。 対育成支援、それらを支達を対して、それらを支達を対して、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	るため、過去のオリンピック・パ
実施方法	委託·請負						
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求
		当初予算	1,171.4	1,171.4	1,035.2	622.2	-
		補正予算	-	_	▲ 30	0	
	I -	度から繰越し	_	-	_		
	の状 翌点	F度へ繰越し	-	-	_		
予算額 · 執行額	∥ 況 並「	予備費等	-	_	_		
(単位:百万円)		計	1,171.4	1,171.4	1,005.2	622.2	0
	執	 l行額	1,107.8	1,037.6	786.6		
	執行器	率(%)	95%	89%	78%		
	当初予算+神	補正予算に対す		89%	78%		
		<u>の割合(%)</u> ¦予算目	令和3年度当初予算		70%	主な増減理由	
		17 异日 興事業委託費		- 月和中央安水			ュ いることから、合計が一致し
			3	_	ない場合がある。		
	l	員旅費 		_			
令和3·4年度 予算内訳	J	宁費	0.2	_			
(単位:百万円)							
	7		1	1	1		
	L_ `	·の他	▲ 0	#VALUE!			
		·の他 計	▲ 0 622.2	#VALUE!	-		

	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標	目標最終年度
			成果実績	人	9.639.949	12.065.656	12.463.944	2 年度	3 年度
成果目標及び	年間で、開発途上国を始め	 2014~2020年の間の「ス			9,039,949	12,000,000	12,403,944	10.000.000	10,000,000
成果実績(アウトカム)	とする100か国以上、1000 万人以上のあらゆる世代 の人々にスポーツの価値と オリンピック・パラリンピッ ク・ムーブメントを広げてい く。	ポーツ・フォー・トゥモロー」	目標値 	%	-	-	-	10,000,000	10,000,000
根拠として用いた統計・データ名(出典)		L スでのIOC総会における、総	L 理による2	020東京	L 大会の招致	スピーチ			
(шж/	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 2 年度	目標最終年度 3 年度
D = = !== .4	2014年から2020年までの7	2014~2020年の間の「ス	成果実績	国数	202	204	204	-	-
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	年間で、開発途上国を始め とする100か国以上、1000 万人以上のあらゆる世代	ポーツ・フォー・トゥモロー」 プログラムが実施された国の数(国数における成果指	目標値	国数	100	100	100	100	100
	の人々にスポーツの価値と オリンピック・パラリンピッ ク・ムーブメントを広げてい く。	一般では 標) ※7月末に令和2年度実績 確定	達成度	%	202	204	204	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	2013年9月、ブエノスアイレス	スでのIOC総会における、総	· 理による2	020東京	大会の招致	スピーチ			
	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 2 年度	目標最終年度 3 年度
成果目標及び		「全国体力・運動能力、運動間等調査」において、「オリンピック・パラリンピックを日本で行うこととなりま	成果実績	%	54.5	59	-	-	-
計田中4	オリンピック・パラリンピック 教育を展開することで、全 国的にオリンピック・パラリ ンピック・ムーブメントを推 進する。	クを日本で行うこととなりましたが、あなたの今の気持ちに当てはまるものを全て選んでください。」との問り「試合を見に行ってみたい」と回答した児童生徒数※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査未実施	目標値	%	60	60	-	80	80
			達成度	%	90.8	98.3	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	全国体力・運動能力、運動	習慣等調査報告書							
活動指標及び 活動実績	活動	指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
(アウトプット)	【スポーツ・アカデミー形成す スポーツ・アカデミーの形成		活動実績	か所	3	3	3	-	_
	スパーグ・アカナミーの形成	双	当初見込み	か所	3	3	3	3年度	 4年度
活動指標及び	活動	1指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	活動見込	活動見込
活動実績 (アウトプット)	【戦略的二国間スポーツ国際		活動実績	団体	426	439	448	-	_
	スポーツ・フォー・トゥモロー	・コンソーシアムの会員数 	当初見込み	団体	450	480	480	480	-
活動指標及び	活動	1指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
活動実績 (アウトプット)	【国際アンチ・ドーピング強化	上支援事業】	活動実績	回	1	1	1	-	-
	国際会議の主催数 活動	指標	当初見込み	単位	1 平成30年度	1 令和元年度	1 令和2年度	3年度	4年度
活動指標及び活動実績	調査研究事業)】【(平成28年		活動実績	拠点	34	45	45	活動見込	活動見込
(アウトンット)	ンピック・ムーブメント全国展 地域でのオリパラムーブメン ンソーシアム形成数		当初見込み	拠点	35	45	45	41	-
活動指標及び	活動	指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
活動実績(アウトプット)	【スポーツ・デジタルアーカィ		活動実績	機関	5	7	7	_	_
	ネットワーク参加機関数		当初見込み	機関	5	10	10	-	-
	算出	根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度	度活動見込
単位当たり コスト	(スポーツ・アカデミー形成)	ミー形成支援事業】 支援事業執行額)/(アカデ	単位当たりコスト	千円	126,650	106,395	85,087		-
		;成数) <u>-</u>	計算式	所	379,951/3	319,184/3	255,261/3		-
334 £L 312 £ 13		·根拠	単位当たり	単位		令和元年度			医活動見込
単位当たりコスト	(戦略的二国間スポーツ国	『一ツ国際貢献事業』 『際貢献事業執行額》/(ス ・・コンソーシアム会員数)	コスト	千円/団体	469.5 200,000/426	455.6 200,000/439	330.3 148,000/448		145.8 000/480
		コンノ ノノム云貝数/	H1 71 21		100,000/ 420			10,	220, 100

		算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度	E活動見込		
単位当		【国際アンチ・ドーピング強化支援事業】	単位当たりコスト	千円	23,551	22,488	3,605	1	6,300		
	•	(国際会議主催執行額)/(国際会議主催数)	計算式	千円/回	23,551/1	22,488/1	3,605/1	16	5,300/1		
		算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度	[活動見込		
単位当		【(平成27年度)オリンピック・パラリンピック・ムーブ 調査研究事業)】【(平成28年度~)オリンピック・パ		千円	8,125.8	5,172.9	4,774.5	6	,236.7		
1	Γ	ンピック・ムーブメント全国展開事業】 (事業執行額)/ (地域コンソーシアム形成数)	計算式	千円/か 所	276,276/34	232,779/45	214,853/45	255	5,703/41		
		算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度	[活動見込		
単位当		【スポーツ・デジタルアーカイブネットワーク構想事		千円	3,979	2,809.9	1,426.8		-		
		事業執行額/ネットワーク参加機関数	計算式	千円/機 関	19,895/5	19,669/7	9,988/7		-		
	政策	11 スポーツの振興									
	施策	 11-2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の! 	実現								
	測	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 2 年度	目標年度		
	定指標	Sports for Tomorrow プログラム事業実施による複	実績値	٨	9,639,949	12,065,656	12,463,944	-	-		
		者数(累積)	目標値	٨	-	-	-	10,000,000	10,000,00		
		本事業	業の成果と上位	拉施策∙測	定指標との関	月 係					
政策	た国際 2020	第2期スポーツ基本計画において、「スポーツは、人種、言語、宗教等の区別な〈参画できるものであり、国境を越え人々の絆を育む。スポーツを通じた国際交流により、「多様性を尊重する世界」の実現に貢献する」とされている。また、2013年9月、ブエノスアイレスでのIOC総会における総理による2020東京大会招致スピーチにおいて、2020年までに100か国10,000,000人の裨益者数達成を指標としている。									
		後 11. スポーツの振興									
価		11. スポーツの振興									
価	政策	11. スポーツの振興 11-4. クリーンでフェアなスポーツの推進によるス:	ポーツの価値	の向上							
価	施策		ポーツの価値	の向上単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標2 年度			
(価)	施 策 測定指	11-4. クリーンでフェアなスポーツの推進によるス定 定量的指標 オリンピック・パラリンピック競技種目における国内競	実績値	1	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
策評	施策	11-4. クリーンでフェアなスポーツの推進によるス 定量的指標	実績値	単位				2 年度			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	施 策 測定指	11-4. クリーンでフェアなスポーツの推進によるス定 定量的指標 定量的指標 オリンピック・パラリンピック競技種目における国内 連盟所属選手によるドーピング防止規則違反件数	実績値	件件	6 -	4		2 年度	3 年)		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	政策を強力を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	11-4. クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの指標 ま型所属選手によるドーピング防止規則違反件数 本事 「ツの価値に基づいたドーピング防止教育・研修パッ 等を通じて、積極的に国際的なアンチ・ドーピング活動	実績値 目標値 業の成果と上位 ケージの導入	単位 件 件 立施策・測・普及、人	6 - 定指標との関 材育成支援、	4 - 引係 、それらを支え	0	2 年度 - 0	3 年 - 0 シンポジウム		
新経	政施別定指標 ス開寄 、第	11-4. クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの指標 ま型所属選手によるドーピング防止規則違反件数 本事 「ツの価値に基づいたドーピング防止教育・研修パッ 等を通じて、積極的に国際的なアンチ・ドーピング活動	実績値 目標値 業の成果と上位 ケージの導入	単位 件 件 立施策・測・普及、人	6 - 定指標との関 材育成支援、	4 - 引係 、それらを支え	0	2 年度 - 0	3 年J 0 シンポジウム り価値の向上 目標最終4		
価	政施 測定指標	11-4. クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの情様では、表示を通じて、積極的に国際的なアンチ・ドーピング活動する。	実績値 目標値 業の成果と上位 ケージの導入	単位件件	を指標との限 を指標との限 を対するでする。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 を対する。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがす。 とがする。 とがす。 とがする。 とがする。 とがする。 とがする。 とがす。 とがす。 とがする。 とがする。 とがす。 とがも、 とがも。 とがも。 とがも。 とがも。 とがも。 とがも。 とがも。 とがも。	4 - - ! それらを支え エアなスポー	0 - える研究開発 ツの推進によ	2 年度 - 0 :、国際会議・ - るスポーツの 中間目標	3 年J 0 シンポジウム り価値の向上 目標最終4		
新経済	政施・測定指標・パーに対して、パートの対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	11-4. クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの情様では、表示を通じて、積極的に国際的なアンチ・ドーピング活動する。	実績値目標値をの成果と上位をプランでは、対して貢献することを	単位件件	を指標との限 材育成支援 クリーンでフ 計画開始時 - 年度	4 - - ! それらを支え エアなスポー	0 - える研究開発 ツの推進によ	2 年度 - 0 :、国際会議・ - るスポーツの 中間目標	3 年J 0 シンポジウム り価値の向上 目標最終4		
価 新経済・財政再	政施 測定指標	11-4. クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの情様では、表示を通じて、積極的に国際的なアンチ・ドーピング活動する。	実績値 目標値 業の成果と上位 ケージの導入 切に貢献するこ 成果実績	単位 件 件 ・普及、人り、 単位	を指標とのほかです。 お育成支援 クリーンでする 計画開始時 - 年度	4 - - ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! !	0 - える研究開発 ツの推進によ 3年度	2 年度 - 0 - - るスポーツの 中間目標 - 年度	3 年J - 0 シンポジウム D価値の向上 目標最終年 - 年J		
価 新経済·財政再生計画	政施・測定指標・パ催与・ (第一階層) (第一階層)	11-4. クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの情様では、表示を通じて、積極的に国際的なアンチ・ドーピング活動する。	実績値目標値をの成果と上位を大一ジのするこの成果実績目標値	単位件の作品を表し、人とにより、単位の一	を指標との限 材育成支援 クリーンでフ 計画開始時 - 年度	4 - - - - - 2年度 - -	0 - える研究開発 ツの推進によ 3年度 - -	2 年度 - 0 にるスポーツの 中間目標 - 年度 	3 年J - 0 シンポジウム D価値の向上 目標最終年 - 年J 		
価 新経済·財政再生計画	政施・測定指標・パ催与・ (第一階層) (第一階層)	11-4. クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの推進によるスプログラリンピック・パラリンピック競技種目における国内競連盟所属選手によるドーピング防止規則違反件数本事動での価値に基づいたドーピング防止教育・研修パッ等を通じて、積極的に国際的なアンチ・ドーピング活動する。	実績値目標値をの成果と上位を大一ジのするこの成果実績目標値	単位 件 件 ・普及、り、 単位 - - %	を指標との を	4 - - - - 2年度 - - -	0 - える研究開発 ツの推進によ 3年度 - -	2 年度 - 0 - 0 - 3スポーツの 中間目標 - 年度 中間目標	3 年J - 0 シンポジウム D価値の向上 目標最終年 - 年J 		
価 新経済·財政再生計画	政施・測定指標・パ催与・ (第一階層) (第一階層)	11-4. クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの推進によるスプログラリンピック・パラリンピック競技種目における国内競連盟所属選手によるドーピング防止規則違反件数本事動での価値に基づいたドーピング防止教育・研修パッ等を通じて、積極的に国際的なアンチ・ドーピング活動する。	実績値 目標値 目標値 サージのするこ 成果実績	単位 件 件 ・普及、り、 単位 - - %	を指標とのほかでです。 お画開始時 - 年度 - 計画開始時 - 年度	4 - - - - - - 2年度 - - - - - - - 2年度	0 - える研究開発 ツの推進によ 3年度 - - - 3年度	2 年度 - 0 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	3 年J - 0 シンポジウム D価値の向上 目標最終年 目標最終年 - 年J		
価 新経済·財政再生計	政 施 測定指標	11-4. クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの推進によるスポーツの推進によるスプログラリンピック・パラリンピック競技種目における国内競連盟所属選手によるドーピング防止規則違反件数本事動での価値に基づいたドーピング防止教育・研修パッ等を通じて、積極的に国際的なアンチ・ドーピング活動する。	実績値目標値をおいて、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、ま	単位 件 件 ・普及、人り、 単位 ー の 単位	を指標との見 材育成支援 クリーンでフ 計画開始時 - 年度 計画開始時 - 年度	4 - - - - - - - 2年度 - - - - - 2年度	0 - える研究開発 ツの推進によ 3年度 - - - 3年度	2 年度 - 0 - 0 - 1 - 1 年度 - 中間目標 - 中間目標 - 中間目標 - 中間目標 - 中間目標	0 シンポジウム D価値の向上 目標最終年 - 年月 		

			事業所管部局による点	i検•改善	
			項目	評価	評価に関する説明
国費投	事業の目的は国見	民や社会のニー;	ズを的確に反映しているか。	0	スポーツを通じた国際的な交流や貢献や、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを全国へ波及させるための様々な取組を実施することは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を成功へと導くとともに、国際相互理解を促進し、国際平和に貢献するものであり、また、スポーツ文化をレガシーとして地域に根付かせ、国民に誇りと喜び、夢と感動などをもたらすものであるため、広く国民のニーズがある事業である。
入の必要性	地方自治体、民間	等に委ねること	ができない事業なのか。	0	本事業の実施に当たっては、国際交流関係団体、地方公共 団体、大学、各地の体育協会等と連携を図りながら、事業を 進める必要があることから、国が総合的に推進していく必要 がある。
19	政策目的の達成号 事業か。	手段として必要か	つ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高り	, 0	第2期スポーツ基本計画において、施策目標として「国際的な政策・ルールづくりに積極的に参画し、スポーツを通じた国際交流・協力を戦略的に展開する」と掲げ、具体的な施策として「SFT等により、計画的・戦略的な二国間交流や多国間交流・協力を促進する」と明記していることから、政策の優先度が極めて高い事業である。
			先の選定は妥当か。 約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、	0	支出(委託)先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保 した上で公募(企画競争)を実施しており、その妥当性や競 争性を確保している。結果として一者応募になった事業につ いては、今後は公募の時点で、応札可能な機関に働きかけ
	者応札又は	一者応募となっ	たものはないか。	有	るなど、応募者を増やす努力をする。なお、委託事業の契約 - 及び委託額の確定手続きに当たっては、事業経費の費目・ 使途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適
	受益者との負担関				切にチェックを行っているところである。
事	単位当たりコスト等		-	0	支出内容が同様の内容の場合には、単位当たりコストが低
業の効			~ 。 よ合理的なものとなっているか。		減するよう進めている。 契約・確定手続きの段階で資料を精査し、判断を行ってい
率			必要なものに限定されているか。	0	る。 契約・確定手続きの段階で資料を精査し、判断を行ってい フ
性	不用率が大きい場	ふら、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	0	る。 大会の1年延期や新型コロナウイルス感染症の影響により 当初計画通り事業が実施できず、やむを得ず減額変更契約 を行ったものがあるため不用額が大きくなったが、現状に即 した内容に事業内容を見直し、事業を推進した。
	繰越額が大きい場	場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	その他コスト削減	や効率化に向け	た工夫は行われているか。	0	契約の段階で事業計画に即した費用が計上されているか、 審査し、精算の段階においても再度審査を行うことで、支払 額を削減する努力をしている。
事業の有効	成果実績は成果 [目標に見合ったも	らのとなっているか。	0	本事業は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催国として、世界の国々との交流・協力関係を築きながら、スポーツの価値をさらに高めようとする国際的な取組に貢献するため、スポーツを通じた国際協力及び交流、国際スポーツ人材育成拠点の構築、国際的なアンチ・ドーピング推進体制の強化支援を柱とする「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラムに取り組むとともに、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを日本全国へ波及させるための取り組みを実施するものであり、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントの推進は着実に図られている。
性	事業実施に当たっ 的あるいは低コス		法等が考えられる場合、それと比較してより効果 いるか。	0	事業者(委託先)と協議を行い、効率的かつ実効性の高い運用を行っている。
	活動実績は見込み	みに見合ったもの	つであるか。	0	令和3年度までの目標に向けて、着実に進捗している。
	整備された施設や	・成果物は十分に	に活用されているか。	0	事業完了報告書を審査するにあたっては、成果物に関する 活用状況も十分審査した上で確定を行っている。
	関連する事業があ 割分担の具体的な		・・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(D右に記載)	没 _	
	所管府省名	事業番号	事業名	I	
関連事業					

点検・改善結	点検結果	「オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会等の招致・開催等」、「スポーツに係る国際的な交流及び貢献の推進」及び「ドーピング防止活動の推進」について、スポーツ基本計画でその必要性が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業である。また、スポーツを通じた国際的な交流や貢献、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを全国へ波及させるための様々な取組を実施することは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を成功へと導くとともに、国際相互理解を促進し、国際平和に貢献するものである。成果目標等を着実に達成しており、東京大会へ向け順調に事業が進捗している。 スポーツ文化をレガシーとして地域に根付かせ、国民に誇りと喜び、夢と感動などをもたらすものであるため、広く国民のニーズがある事業であり、事業実施に当たっては、国際交流関係団体、地方公共団体、大学、各地の体育協会等と連携を図りながら進める必要があるため、国が総合的に推進していく必要がある。 支出(委託)先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募(企画競争)を実施しており、その妥当性や競争性を確保している。
果	改善の 方向性	事業の実施にあたっては、委託先と進捗状況、課題、成果等の情報共有を行うとともに、委託先間の連携強化にも努め、事業のより効果的な推進に努める。 また、委託事業完了時には、委託先からの事業実施完了報告書により、事業成果、委託費支出の是非等の確認、今後に向けた改善点の洗い 出しを行うほか、必要に応じて実地検査を行い、証拠書類(収支簿・領収書等)の確認、委託費の適切な執行、物品の管理状況を検査する。

外部有識者の所見

事業目的が不明確であり、目的自体に疑問があり、オリ・パラ終了をもって本事業を終了とすることは、スポーツの意義を国際的に高めようとする本施策の意義を推進するためには、本事業の成果を速やかに検証し、今後の施策・事業につなげることが必要である。 アウトカム指標について、「試合を見に行ってみたいと回答した児童生徒数」は適切ではなく、国民に広くオリ・パラやスポーツの目的や活動の意義を理解してもらうことが本ムーブメントの究極の目的を踏まえた成果が測れる指標の設定が必要である。 また、1者入札の原因分析の徹底が欠如している。特に資金の流れB(再委任分にも注意)及びEについて分析・解明が必要である。

	行政事業レビュー推進チームの所見											
終 了 予 定	本事業は、当初計画に基づき令和3年度をもって予定通り終了 なお、外部有識者の指摘を踏まえ、本事業の成果及び1者応札についての分析を行い、今後の事業実施につなげるべきである。											
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況											
予												
終定 了通 り	本事業は、令和3年度をもって終了する。 なお、外部有識者の指摘を踏まえ、本事業の成果及び1者応札についての分析を行い、今後の事業実施につなげる。											

備考

スポーツ・デジタルアーカイブ構想調査研究事業報告書及びスポーツ・デジタルアーカイブ構築に向けた基本的な考え方 https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop08/list/detail/1389219.htm

		関連する過去のレビューシー	-トの事業番号	
平成22年度	-			
平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	新26-0035			
平成27年度	新27-0037			
平成28年度	329			
平成29年度	320			
平成30年度	319			
令和元年度	文部科学省 - 0313			
令和2年度	文部科学省 - 0315			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

スポーツ庁 786. 6百万円

職員旅費 0.1百万円を含む

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催国として、IOCや世界の国々との交流・協力関係を築 きながら、スポーツの価値をさらに高めようとする国際的な取組に貢献するため、国際的な人材養成の 中核拠点形成、途上国のスポーツ環境の整備、国際的なアンチ・ドービング推進体制の強化支援を柱 とする「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラムに取り組むとともに、オリンピック・パラリンピック・ムーブ メントを日本全国へ波及させるための取り組みを実施。

委託【随意契約(企画競争)】

A. スポーツ・アカデミー形成支援事 233. 1百万円 大学(全3大学)

筑波大学 日本体育 大学 188.2百万円

鹿屋体育 大学

40.7百万円

4.3百万円

IOC、JOC、NOC、体育系大学等が連 携して、オリンピズムの普及とスポーツ 医科学研究の推進を図るため、IOC関 係者等を教員等として招聘、国際的なス ポーツ界での活躍が期待される人材の 受入れ・養成を行う中核拠点を構築する

委託【随意契約(企画競争)】

委託【随意契約(企画競争)】・拠出金

B. 戦略的二国間スポーツ国際貢献事 業178.0百万円(全2法人)

(独)日本スポーツ 振興センター: 148百万円

日本体育大学: 30.0百万円

学校体育カリキュラ ム等の策定支援など、 途上国のスポーツ環 境の整備に協力する。 官民連携協力による スポーツの国際協力 コンソーシアムを構築 各国の協力要請 に迅速かつ的確に対

東京パラリンピック競 技大会での参加国・ 地域数が過去最多と なることを目指し、パ ラリンピック未参加 国・地域や直近大会 における出場が安定していない国・地域を 支援する。

C. 国際アンチ・ドーピング強化支援事 150.7百万円 民間団体(全2法人)

(公財)日本アン チ・ドーピング機構 (JADA) (委託)60.7百万円

アジアドーピング 防止基金(拠出金) :90百万円

アンチ・ドーピング活動が遅れている 国へのドーピング防止教育・研修パッケージの導入・普及、人材育成支援、 それらを支える研究開発、国際会議・シンポジウムの開催等を通じて、世界 のスポーツにおけるドーピングの撲滅

に貢献する。 アジアのドーピング防止活動の発展を 促進するため、「アジア・ドーピング防 止基金」に対し、資金を拠出する。

資金の流れ

(資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万円)



再委託【随意契約(その他)】

F. AISTS(大学院):8百万円

IOC関係者を講師として招聘する、オリ ンピックに関するイベントマネジメントに 特化したプログラムSEMOS(Sports Event Management And Organisation Seminar)の企画運営を AISTS(IOCが中心となって設立したス ポーツマネジメント大学院)に委託する ŧ_の (令和2年度は1回開催)

委託【随意契約(企画競争)】

D. オリンピック・パラリンピック・ムーブメント 全国展開事業:214.8百万円

大学(全3大学)、自治体(45道府県政令市)

筑波大学 35.5百万円 早稲田大学 29.0百万円 日本体育大学 28.1百万円

自治体(45道府県政令市) 122.2百万円

オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを全国展開 することを目的とし、3大学・45道府県等教育委員 会と連携して、オリパラ教育を展開する。



再委託 【随意(企画競争)】1件



G.ウガンダ共和国における 体育指導資料の策定支援 :5.5百万円

日本体育大学

専門的知見、現地におけるネッ トワークを活かし、ウガンダにお いて体育指導資料の策定支援 を行う。

委託【随意契約(企画競争)】

E. スポーツ・デジタル・アーカイ ブネットワーク構想事業 :9.9百万円

凸版印刷(株)

過去のオリンピック・パラリンピック競 技大会をはじめとする国際競技大会 等に係る資料のアーカイブ化・ネット ワーク化に関する調査研究を行う。

		 A.筑波大学		B.独		ンター
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	賃金	教授·職員等賃金、留学生奨学金等	119.9	賃金	コーディネーター賃金等	66.1
	旅費	講師旅費、調査研究旅費等	14.1	旅費	海外派遣費。会議出席旅費等	28.9
	消費税相当額	消費税相当額	13	雑役務費	イベント開催経費・現地諸経費等	19.9
	雑役務費	カンファレンス運営・広報支援業務	8.4	消費税	消費税	9.6
	再委託費	IOCセミナー委託費(委託先:AISTS)	8	再委託費	再委託費	5.5
	印刷製本費	リーフレット印刷等	5.8	その他	諸謝金·消耗品費等	4.7
	借損料	バス借り上げ料等	1.1	印刷製本費	年次報告書等	2.4
	諸謝金	講演謝金等	1	借損料	車・機材の借上げ	2.3
	その他	通信運搬費、消耗品費	0.5	通信運搬費	通信運搬費	0.7
	一般管理費	直接経費(人件費、事業費)の10%	16.4	一般管理費	一般管理費	7.7
	計		188.2	計		148
		C.アジアドーピング防止基金	夕 姑		D.筑波大学 	夕 姑
	費目	使途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
		アジアの発展途上国及びアジア地域ドーピング防止機関におけるドーピング防止活動 を支援する事業の実施	90	賃金	賃金	12.9
				旅費	セミナー・ワークショップ出席費	6.9
				消耗品費	事務局、授業消耗品費	3.9
				雑役務費	フォーラム開催費等	3.5
				印刷製本費	成果報告書作成費	2.7
費目·使途				消費税相当額		1.4
(「資金の流れ」に おいてブロックご				通信運搬費	郵便代	0.8
とに最大の金額 が支出されている				借損料	セミナー・フォーラム会場費	0.3
者について記載する。費目と使途				会議費	会議飲み物	0.1
の双方で実情が				一般管理費	直接経費(人件費、事業費)の10%	3
分かるように記載)	計		90	計		35.5
		E.凸版印刷株式会社			F. AISTS	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	人件費	事務局人件費	4.4	賃金	プロジェクトマネージャー等人件費	5.5
	雑役務費	調査研究費	3.4	諸謝金	講師講演料	1.7
	その他	一般管理費、消費税相当額	1.4	雑役務費	アンケート調査業務	0.5
	諸謝金	謝金	0.7	印刷製本費	資料印刷	0.3
	旅費	各地域への移動費	0			
	計		9.9	計		8
		G.日本体育大学			H.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	人件費	事務局人件費	3.3			
	事業費	謝金、旅費、借損料、消耗品、雑役務費、通信運搬費、消費税相当額	1.7			
	その他	一般管理費	0.5			
	計		5.5	計		0
	費目・使途欄に	ついてさらに記載が必要な場合はチェック	の上【別紙2	2]に記載	チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	筑波大学	5050005005266	国際的なスポーツ人材養 成の中核拠点形成	188.2	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
2	日本体育大学	5010905000774	国際的なスポーツ人材養成の教育プログラムの開発 及び提供	40.7	随意契約 (企画競争)	2	100%	-
3	鹿屋体育大学	8340005007065	国際的なスポーツ人材養成の教育プログラムの開発 及び提供	4.3	随意契約 (企画競争)	2	100%	-

В

	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
	独立行政法人日本 スポーツ振興セン ター		学校体育カリヤュラム等の 策定支援など、途上国のスポーツ環境の整備に協力	148	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
2	日本体育大学	5010905000774	パラリンピック参加国・地域 拡大支援	30	随意契約 (企画競争)	1	100%	-

С

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	アジア・ドーピング防止基金	-	アジアの発展途上国におけるドーピング防止活動を 支援する事業	90	その他	_	-	-
2	公益財団法人日本 アンチ・ドーピング機 構		日本国内におけるドーピン グ防止活動の総括	60.7	随意契約 (企画競争)	1	100%	-

D

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	筑波大学	5050005005266	教育地域拠点(各地域)へ のオリパラ教育の支援	35.5	随意契約 (企画競争)	4	75%	-
2	早稲田大学	5011105000953	教育地域拠点(各地域)へ のオリパラ教育の支援	29	随意契約 (企画競争)	4	75%	-
3	日本体育大学	5010905000774	教育地域拠点(各地域)へ のオリパラ教育の支援	28.1	随意契約 (企画競争)	4	75%	-
4	札幌市	9000020011002	地域内のオリンピック・パラ リンピック教育の推進	7.9	随意契約 (企画競争)	45	100%	-
5	香川県教育委員会	8000020370002	地域内のオリンピック・パラ リンピック教育の推進	5.8	随意契約 (企画競争)	45	100%	-
6	兵庫県教育委員会	8000020280003	地域内のオリンピック・パラ リンピック教育の推進	5.5	随意契約 (企画競争)	45	100%	-
7	福岡県	6000020400009	地域内のオリンピック・パラ リンピック教育の推進	5.4	随意契約 (企画競争)	45	100%	-
8	岩手県	4000020030007	地域内のオリンピック・パラ リンピック教育の推進	5.2	随意契約 (企画競争)	45	100%	-
9	京都府教育委員会	2000020260002	地域内のオリンピック・パラ リンピック教育の推進	4.8	随意契約 (企画競争)	45	100%	-
10	千葉市	6000020121002	地域内のオリンピック・パラ リンピック教育の推進	4.7	随意契約 (企画競争)	45	100%	_

Ε

	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	凸版印刷株式会社	7010501016231	スポーツ・デジタル・アーカ イブ調査研究	9.9	随意契約 (企画競争)	1	100%	-

.

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	AISTS	-	IOC関係者を講師として招聘する、オリンピックに関するイベントマネジメントに特化したプログラム	8	随意契約 (その他)	I	100%	-

G

	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本体育大学		ウガンダでの小学校教員 向け体育指導書策定支援	5.5	随意契約 (企画競争)	1	100%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブ ^ロ ック 名	契約先	法 人 番 号	業務概要	契約額(百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		_	-	-	-		-	-	-

事業番号 2021 - 文科 - 新22 - 0027

					<u> </u>		手業		20:			文科	10.1			/	
	1			令和	13年度行	<u> </u>	事業レ	<u>,ビュ</u>	<u>ーシ</u>	<u>ート</u>	(文部	科学	<u>省</u>		<u> </u>
事業名	ポスト	スポーツ・フォ	ー・トゥ	モロー推進車	事業		担当部	部局庁	スポ-	ーツ庁					作用	戊責任	者
事業開始年度	令	和4年度		終了) 年度	令和8年	度	担当	課室	国際	課				国際	課長	新井	知彦
会計区分	一般会	会計															
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-							する 通知等	スポ 2020 準備 (平)	ーツ立 年東京 及び選 成27年	国戦略 オリン 営営に 11月2	各(平) ノピック 関する 7日	成24年3月 成22年8月 フ競技大会 施策の推 閣議決定) 画(平成29	26日策 ・パラ 進を図	定) リンピッ るため	の基	
主要政策・施策	_						主要	経費	文教	文教及び科学振興							
事業の目的		リパラパリ大会															
(目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	ポーツ	り組んできた「だの存在感を示す。 この存在感を示す スポーツ・フォー	トとともに	、国際的な	課題である技	寺続可食	能な開発目	標(SDC									
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	・SFT 成果発 (2)SF ・NF/J ・スポ-	際協力コンソー 事業を通じて構 を信を通じて対タ Tレガシーリー・ OC・JPC連携 ーツを通じたジュ 1本の強みを生	楽したネット的な日 ディング 業業の支 ンダー	ットワークを 本のプレゼ: 事業 援により、各 F等や多文化	維持・発展さ ンスの向上を ・国競技団体	せるた 図る 間の協	め、国内会 品力強化を	注員/一般 推進する	5					とともに	、国際ス	スポーツ	/界等への
実施方法	委託•	請負															
				平成	30年度	2	令和元年	变	令	和2年度	ŧ	4	令和3年度		令₹	04年月	要求
		当初予	算		_		_			-			0			260	
		補正予算	算		_		_			-		_					
	予算	前年度から	繰越し		_		-			-						-	
予算額・	の状 況	翌年度へ網	越し		_		-		-				-				
執行額 (単位:百万円)		予備費	等 ————		-		-			-			-				
		計			0		0			0			0			260	
	執行額				0			0		0							
		執行率(%)		-			-		-								
		予算+補正予算 執行額の割合 (-	-			-								
		歳出予算目	,	令和3年原	度当初予算	令	和4年度要	要求	主な増減理由								
	スポ-	ーツ振興事業	委託費		0		256.6		※金額I ない場合			捨五入	して記載し	ている	ことから	、合言	†が一致し
令和3·4年度 予算内訳		職員旅費			0		3.4	3.4 SF		FTプログラムのレガシーを発展させ、スポーツを通じた国際協力及 「交流を先導する「SFT NEXT(仮称)」プログラムを実施するため、新 見要求。							
(単位:百万円)																	
		その他			0		0										
		計			0		260							1	. — . —		
成果目標及び	定	≧量的な成果目	標	F				単位	平成	30年度	令和元	年度	令和2年度	中間 6	目標 年度	8 8	最終年度 年度
成果実績	世界中	中の国々を対象	えとした		・フォー・トゥ フト (仮称)		成果実績	ᄉ						1			
(アウトカム)	スポーツを通した国際交 流・協力の推進			スト(仮称)」 る裨益者数(目標値 達成度	人 %						5,00	0,000	10	,000,000	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	事業委	委託先からの幸	设 告書、	情報提供				L .~			<u> </u>			1			
☆田口標3.* *	定	定量的な成果目標 成果指標						単位	平成	30年度	令和元	年度	令和2年度	中間 6	目標年度	目標	最終年度 年度
成果目標及び 成果実績	₩與₫	世界中の国々を対象とした ロースポーツを通じた国際交 宝					成果実績	国・地	域								
(アウトカム)	スポー			た D _ * * A Z L (仮称) 事業 _	目標値	国∙地	域						50		100		
	流•協 	力の推進		域数	, _,,,,,,,,,,	. ~:	達成度	%									
	ll			<u> </u>			~,7715										

	して月 ・デー (出典)	タ名	事業委託先からの報告書、情幸	最提供								
	成	果目棋	票及び成果実績(アウトカム)欄 [こついてさらに記載が必要	更な場合に	ナチェック	の上【別	J紙1】	に記載	チェッ	ク	
活動	指標。	及び	活動指標	票	//	単位	平成3	0年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
活	動実	漬	国際協力コンソーシアムの会員	· 数	活動実績	団体						
					当初見込み	団体					- 	70
	指標		活動指	票		単位	平成3	0年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	動実		SFTレガシーリーディング事業に	こよる裨益者数	活動実績	人						
			年 11.4日	ika .	当初見込み	人	 	·	^.1a = <i>f</i> . c	へたった 中	0/5/5	30,000
			算出根	<u>"</u>	単位当たり	単位	平成3	0年度	令和元年度	令相2年度	3年度	ξ活動見込 ————
	位当た コスト		 (スポーツ・フォー・トゥモロー・:		コスト							
			額)/(国際協力コンソー 	-シアムの会員数)	計算式	千円/団体	k					
			算出根	処		単位	平成3	0年度	令和元年度	令和2年度	3年度	医活動見込
	位当た	:6)		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	単位当たり コスト	千円						
	コスト		│(スポーツ・フォー・トゥモロー・: │額)/(SFTレガシーリーディン		計算式	千円/人						
					ПЯТЕС	114/						
		政策	_									
		施策	_									
							_ p -				中間目標	目標年度
			定量的指 	標		単位	平成3	0年度	令和元年度	令和2年度	- 年度	- 年度
政					実績値	-	-	-	-	-	-	-
策評						_	+	-	_	_	_	_
価				·	目標値	» / L	T + 0) * = fr dr	^ ~	中間目標	 目標年度
新経済	71.		定量的指 	標		単位	平成3	0年度	令和元年度	令和2年度	- 年度	- 年度
財政	政策評	測 定 指	_		実績値	-	-	-	-	-	-	-
再生	価	標			目標値	-			-	-	-	_
計画との			定性的指標	目標		目標年	度		施急	策の進捗状況	兄(目標)	
関係							-					
			-	-		-				まの進捗状況		
							_		,,,,,			
				本事業の原	井田 レトバ	- tha 44c _ 31		LAB	11Z			
				本事未の 。	以来とエセ	Z.肥東 * //	引化扫标	とのぼ	目常			
		_										
				事業所管部	部局によ		1					
			項 	目 			評 価			評価に関 		
								するた	めの様々な	取組を実施す	することは、東	流や協力を推進 「京オリンピック・
	事業の	の目的	は国民や社会のニーズを的確に	こ反映しているか。			0	国際村	目互理解を促	進し、国際平	和に貢献す	あり、また同時にるものであり、さ
国費								らには、スポーツ文化をレガシーとして国内に根付かせ、国 民に誇りと喜び、夢と感動などをもたらすものであるため、広 く国民のニーズがある事業である。				
投入												・ 車 業 丸 郷 结 . 祭
စြ	地方目	自治体	、民間等に委ねることができなし	ゝ事業なのか。			本事業の実施に当たっては、これまでのSFT事業を継続・発展させるため、国際交流関係団体、地方公共団体、大学、各地の体育協会等と連携を図りながら、事業を進める必要があ					
要性								ること		合的に推進	いら、争来を していく必要: 	がある。
_	政策目 事業が		達成手段として必要かつ適切な	事業か。政策体系の中で	で優先度の	高い	\circ	域の流	舌性化」及び「	スポーツをi	通じた国際社	 通じた経済・地 会の調和ある発 「性が明記される
	サ木バ	0.0									い事業であ	

	競争性が確	E保されているなど支出	先の選定は妥当か。	-	
		競争契約、指名競争契 札又は一者応募となっ	約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一 たものはないか。	無	支出(委託)先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保 した上で公募(企画競争)を実施し、その妥当性や競争性を 確保しながら、優れた提案について採択を行う予定である。
	競争	性のない随意契約とな	ったものはないか。	無	The production of the producti
	受益者との	負担関係は妥当である	か。	0	国が主体的に行う委託事業であることから、妥当である。
業	単位当たり	コスト等の水準は妥当だ	ዕ ነ _°	0	委託事業の契約及び委託額の確定手続きに当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査し、単位当たりコストが低減するよう進める。
め対	資金の流れ	ルの中間段階での支出し	ま合理的なものとなっているか。	-	-
性性	費目•使途/	が事業目的に即し真に	必要なものに限定されているか。	0	委託事業の契約及び委託額の確定手続きに当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査し、真に必要なものとなっているか適切にチェックを行う。
	不用率が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	繰越額が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	その他コス	ト削減や効率化に向け	た工夫は行われているか。	0	委託事業の契約及び委託額の確定手続きに当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査し、その妥当性について適切にチェックを行う。
	成果実績は	成果目標に見合ったも	のとなっているか。	-	-
		三当たって他の手段・方 低コストで実施できてい	法等が考えられる場合、それと比較してより効果 いるか。	0	委託事業の契約及び委託額の確定手続きに当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査し、その妥当性について適切にチェックを行う。
効性	活動実績は	見込みに見合ったもの	であるか。	-	-
	整備された	施設や成果物は十分に	三活用されているか。	-	-
			・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役		
	制分担の具 所管府省名	は体的な内容を各事業の 事業番号	事業名		
関	加昌和	尹木田与	尹木石		
連事					
業					
点検・改	点検結果	国による取組の必要り 力を推進するためのも 解を促進し、国際平和	生が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い�� 兼々な取組を実施することは、東京オリンピック・パ・	事業である ラリンピッ	ポーツを通じた国際社会の調和ある発展への貢献」において、 る。また、SFT事業を継承し、スポーツを通じた国際交流や協 ク競技大会レガシーの継承でもあり、また同時に国際相互理 として国内に根付かせ、国民に誇りと喜び、夢と感動などをも
善結果	改善の 方向性		テう。また、委託事業の契約及び委託額の確定手線		(争)を実施し、その妥当性や競争性を確保しながら、優れたこっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査し、単位
			外部有識者の所見		
			かいい はない アンプラング かんりょう かんしょう しんしょう かんしょう しんしょう しんしょく しんしゃ しんしゃ しんしゃ しんしゃ しんしゃ しんしゃ しんしゃ しんし		
外部和	j 識者点検対	対象外			
			行政事業レビュー推進チー	ムの所見	!
	事	事業目的の達成に向け、	効率的な予算執行を図り、費用対効果の向上等に	:努めるこ	٤.
	<u> </u>		所見を踏まえた改善点/概算要求に	おける。	反映状況
			備考		

		関連する過去	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トの事業番号			
平成22年度							
平成23年度							
平成24年度							
平成25年度							
平成26年度							
平成27年度							
平成28年度							
平成29年度							
平成30年度							
令和元年度							
令和2年度 文部科	^{学省 -} ┃ ※令和2年度実績を記入。執行				7		
資金の流れ (資金の受け取っている) (単位:百万円)	「スオ 人) を 発目	年東京大会の開催国として、ススペーツ・フォー・トゥモロー(SFT)」・発展させ、国際的に日本のスオ様(SDGs)の達成に貢献するたいオー・トゥモロー・ネクスト(仮称)	スポーツ庁 260百万円 260百万円 ボーツを通じた国際 プログラムになるレーツの存在感を示め、官民協力による	情協力及び交流等 ガシー(裨益者数 すとともに、国際に取組を先導し、成 する。	∷204か国・地域、約1,200万 的な課題である持続可能な開		
		A.			B.		
費目・使途	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 遊	<u> </u>	金 額 (百万円)
(「資金の流れ」においてブロックご							
とに最大の金額 が支出されている							
者について記載する。費目と使途							
の双方で実情が分かるように記							
載)							
	計		0	計			0
	■	記載が必要な場合はチェ	 ックの上【別紙2	:]に記載	チェック		
					. = , ,	1	

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
	支出先上位10	者リスト欄について	チェック					

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

フ [*] ロック 名	契 約 先	法人番号	業務概要	契約額(百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	_	-	_	-		-	ı	_

令和3年度実施施策に係る事前分析表

(文R3-11-2)

											(文R3-11-2)
施策名	スポーツを辿	通じた活力が	あり絆の強い	社会の実現		部局名	スポーツ庁国際	祭課	作成責任者	新井	知彦
			を通じたアプロ 的に取り組む。	ーチが有効で	あることを路	皆まえ、スポー	ーツを通じた共生	生社会等の実現、	経済・地域	政策評価 実施予定時期	令和5年度 以降に実施
施策の予算額		令和	2年度	令和:	3年度		系する内閣の	第9期スポーツ目	二木計画第3音9	to 12	
(千円])	1, 982, 461		2, 119, 536		重要施策(主なもの)		第2期スポーツ基本計画第3章2 など			
	障害者スポーツの振興等、スポーツを通じた健康増進、スポーツを通じた女性の 活躍推進を図ることで、スポーツを通じた共生社会等の実現を図る。 考								F3月文部科学大臣 等の実現」を踏まえ		
測定指標	基準値			実績値			目標値	測定指標の選	定理由及び目標値	直(水準・目標年度)の設定の根拠
側足指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2	R3年度	【測定指標及び目	標値の設定根拠】		
	【成人】 19.2%		20. 8%		25. 3%	24. 9%	40%	・第2期スポーツ 実施率を40%程度 す」とされている 【成人】 分母:事業の調査	基本計画におい (若年層(7~19 ことから、本目も 研究における、F	て、「障害者の週1 9歳)は50%程度)と 票値を設定した。 成人の有効回答数	することを目指
①障害者のスポー ツ実施率(週1回 以上)	【若年層 (7~19 歳)】 31.5%	_	29. 6%	_	30. 4%	27. 9%	50%	→ 分子:上記調査で、「過去1年間にスポーツ・スポーツレクリエーを週1回以上行った」と回答した成人の数(「週に3日以上、週に1以上」を含む) 【若年層】 分母:事業の調査研究における、7~19歳の有効回答数 分子:上記調査で、「過去1年間にスポーツ・スポーツレクリエー		以上、週に1~2日 数 ソレクリエーション	
	年度ごとの 目標値				_	_	_	日以上」を含む)	度「障害者スポー	ーツ推進プロジェク	3日以上、週に1~2 ト(障害者のス
測定指標	基準値			実績値			目標値	測定指標の選	定理由及び目標値	直(水準・目標年度)の設定の根拠
侧足相棕	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2	R3年度	【測定指標及び目			
②障害者のスポー ツ実施率(週3回 以上)	9.3%	_	9.8%	_	12. 5%	12. 3%	20%	実施率を20%程度と を設定した。 ・分母:事業の調 分子:上記調査	さすることを目指 査研究における、 で、「過去1年間	成人の有効回答数 にスポーツ・スポー	ことから、本目標値
	年度ごとの 目標値							ンを週3日以上行った」と回答 【出典】令和元年度「障害者フポーツ参加促進に関する調査研		ーツ推進プロジェク	ト(障害者のス

測定指標	基準値			実績値			目標値	測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠	
例 足 相 係	H28年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	- 【測定指標及び目標値の設定根拠】	
③成人女性のス ポーツ実施率(週1 回以上)	41.0%	41.0%	49. 9%	53. 0%	51.0%	58. 3%	65%	・第2期スポーツ基本計画において、「成人(女性を含む)のスポーツ 実施率を週1回以上が65%程度となることを目指す」とされていることか ら、本目標値を設定した。 ・分母:事業の調査研究における、成人女性の有効回答数 分子:上記調査で、「過去1年間にスポーツ・スポーツレクリエーショ	
四次工	年度ごとの 目標値							ンを週1日以上行った」と回答した成人女性の数 【出典】「令和元年度 スポーツの実施状況等に関する世論調査」	
	達成手段 (開始年度)			関連する行政事業指標番				備考	
	ーツ推進プロミ 平成30年度)	ジェクト	1)(2 0340		40		—	
	プロジェクト 平成29年度)	2020	1)(2	0333				
	\者スポーツ協 平成26年度)	会補助	1)(2	0334		_		
(地方ス:	全国障害者スポーツ大会開催事業 (地方スポーツ振興費補助) (平成26年度)			①②		35		_	
Sport in L	※11-1より再掲 Sport in Life推進 プロジェクト (令和2年度)【再掲】			③ 0317				_	
昨年度事前	j分析表からσ	変更点	一部の測定指標について見直しを実施した。						

	1							
達成目標2			域の活性化を図 革工程表2020関				目標設定の 考え方・根拠	第2期スポーツ基本計画(平成29年3月文部科学大臣決定)第3章2 (2)「スポーツを通じた経済・地域の活性化」を踏まえ設定。
加拿拉達	基準値			実績値			目標値	測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠
測定指標	H24年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R7年度	White He for the sales for the sales for the
①スポーツ市場規 模(兆円) 【新経済・財政再	約5.5	l	約8.4 ※スポーツ GDP基準	約8.7 ※スポーツ GDP基準	-	_	15	【測定指標及び目標値の設定根拠】 成長戦略において「スポーツ市場規模を2020年までに10兆円、2025年までに15兆円に拡大することを目指す。」とされていることから、本目標値を設定した。 【出典】成長戦略フォローアップ(令和3年6月18日閣議決定) 【新経済・財政再生計画改革工程表2020KPIにおいて、「スポーツ市場規模を2020年までに10兆円、2025年までに15兆円に拡大することを目指
生計画改革工程表 2020KPI】	年度ごとの 目標値	_	_	_	_	_		(最近2020年までに10元日、2023年までに15元日に拡入することを目指す。」とされている。】 【実績値の出展】:「わが国スポーツ産業の経済規模推計~日本版スポーツサテライトアカウント2020~2011~2018年推計」(株式会社日本経済研究所)(2021年8月)
測定指標	基準値			実績値			目標値	測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠
例だ1目伝	H28年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	【測定指標及び目標値の設定根拠】
②地域スポーツコ ミッションの設置 数 【新経済・財政再	56	56	83	99	118	159	170	・第2期スポーツ基本計画において、「地域スポーツコミッションの設置数を170に拡大することを目指す」とされていることから、本目標値を設定した。 【出典】第2期スポーツ基本計画(平成29年3月24日策定)、スポーツ庁
生計画改革工程表 2020KPI】	年度ごとの 目標値	_	_	_	_	_		調 【新経済・財政再生計画改革工程表2020KPIにおいて、「地域スポーツコ ミッション設置数 2016年度:56→2021年度:170」とされている。】
測定指標	基準値			実績値			目標値	測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠
1月1八二月1六	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
③スポーツ目的の 訪日外国人旅行者 数(万人)【新経 済・財政再生計画	138	150	187	195	229	未調査	250	【測定指標及び目標値の設定根拠】 ・第2期スポーツ基本計画において、「スポーツ目的の訪日外国人旅行 者数を250万人程度に拡大することを目指す」とされていることから、本 目標値を設定した。 【出典】第2期スポーツ基本計画(平成29年3月24日策定)、訪日外国人 消費動向調査、日本政府観光局公表の訪日外国人旅行者数
改革工程表	年度ごとの 目標値		_	_		_		【新経済・財政再生計画改革工程表2020KPIにおいて、「スポーツ目的の 訪日外国人旅行者数 2015年度:約138万人→2021年度:250万人」とさ れている。】

測定指標	基準値			実績値			目標値	測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠
例足相係	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	【測定指標及び目標値の設定根拠】
④スポーツツーリズム関連消費額(億円)	2, 204	2, 542	2, 702	2, 892	3, 584	411	9,000	・第2期スポーツ基本計画において、「スポーツツーリズム関連消費額を3,800億円程度に拡大することを目指す」とされていることから、本目標値を設定した。 【出典】第2期スポーツ基本計画(平成29年3月24日策定)、旅行・観光消費動向調査
【新経済・財政再生計画改革工程表 2020KPI】	年度ごとの 目標値		l				3, 800	【新経済・財政再生計画改革工程表2020KPIにおいて、「スポーツツーリズム関連消費額 2015年度:約2,204億円→2021年度:3,800億円」とされている。】 ※新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国内の人流が抑制されたため、令和2年度の実績値が大きく減少している。
測定指標	基準値			実績値			目標値	測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠
例足指除	H29年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R7年度	
⑤地域交流拠点としてのスタジアム・アリーナ設置数 【新経済・財政再生			_		_	11	20	【制定指標及び目標値の設定根拠】 成長戦略において「全国のスタジアム・アリーナについて、多様な世代 が集う交流拠点として、2017年から2025年までに20拠点を実現する」と されていることから、本目標を設定した。 対象となるスタジアム・アリーナを定めた選定要綱に基づき、対象とな るスタジアム・アリーナの選定を年度内に開始する。 【出展】成長戦略フォローアップ(令和3年6月18日閣議決定) 【新経済・財政再生計画改革工程表2020KPIにおいて、「地域交流拠点と
生計画改革工程表 2020KPI】	年度ごとの 目標値	_	_		_	_		してのスタジアム・アリーナ設置数:2017年から2025年までに20拠点」 とされている。】

達成手段 (開始年度)	関連する 指標	行政事業レビュー 番号	備考
スポーツ産業の成長促進事業 (平成29年度)	①⑤	0336	スポーツの成長産業化を図るため、地域交流拠点としてのスタジアム・アリーナの実現やICTによるスポーツ指導者や施設等の活用、スポーツ団体の経営力強化及びIoTやAI活用等による新たなスポーツビジネスの創出を推進する。 【新経済・財政再生計画改革工程表2020において、「スポーツ市場規模 ※2012年:5.5兆円→2020年:10兆円、2025年:15兆円」とされている。】
スポーツによる地域の価値向上プロジェクト (令和2年度)	1234	0337	_
スタジアム・アリーナ推進官民連携協議会 (平成28年度)	①⑤	0323	スタジアム・アリーナ改革の理念を体現する全国のスタジアム・アリーナについて、数値 目標である20拠点の達成に向けた選定基準の策定を官民共同で議論。
スタジアム・アリーナ改革ガイドブック (平成29年度)	①⑤	_	スタジアム・アリーナ改革の全体の方向性を提示したスタジアム・アリーナ改革指針及び民間資金・ノウハウ活用のポイントを整理したスタジアム・アリーナ整備に係る資金調達手法・民間資金活用プロセスガイド並びに国内外のスタジアム・アリーナ先進事例及びスタジアム・アリーナにおける顧客経験価値向上に資する技術事例等をとりまとめて提示。【新経済・財政再生計画改革工程表2020において、「官民連携のポイント等をまとめた『スタジアム・アリーナ改革ガイドブック』、基本構想・基本計画段階における望ましい検討手順を示した『スタジアム・アリーナ運営・管理計画ガイドライン』の普及、先進事例の形成」が挙げられている。】
昨年度事前分析表からの変更点			

		レガシーとして	的な政策・ルール作りに積極的に参画し、また国際規模の大 ーとして継承することで、スポーツを通じた国際社会の調和 。					第2期スポーツ基本計画(平成29年3月文部科学大臣決定)第3章2 (3) 「スポーツを通じた国際社会の調和ある発展への貢献」を踏まえ 設定。		
測定指標	基準値			実績値			目標値	測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠		
例是相係	H28年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	【測定指標及び目標値の設定根拠】		
①国際競技団体等 の日本人役員数	26	26	29	30	35	35	35	第2期スポーツ基本計画において、国際競技連盟等の役員数を、平成28年度の26名から令和3年度までに35名を目指すことが数値目標とされているため。 【出典】スポーツ庁調べ		
	年度ごとの 目標値	_	_	_	_		33			
測定指標	基準値									
②国際競技大会 の招致	実績	H29年度	を 2023年FIBAバスケットボールワールドカップ招致実現							
		H30年度	第4回IAAF世界リレー招致実現							
		R1年度	2020年FIGパルクール世界選手権大会、世界パラ陸上競技選手権大会							
		R2年度	2021世界体操・新体操選手権大会							
	目標	R3年度	平成29年度から令和3年度までに国際競技大会を5大会招致実現							
		目標年度)の	【測定指標及び目標値の設定根拠】 第2期スポーツ基本計画において、「スポーツを巡る国際的な政策,ルールづくりや国際協力に積極的に参画し国内の取組に反映すること,国際競技大会や国際会議を開催すること,それらに必要な国際人材を育成することを通じ,我が国がリーダーシップを発揮して国際的地位を高める。」とされている。 【出典】スポーツ庁調べ							
測定指標	基準値			実績値			目標値	測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠		
例足指除	_	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	【測定指標及び目標値の設定根拠】		
③Sport for Tomorrowプログラ ム事業実施による 裨益者数	_	193か国・地 域 3,483,772人	202か国・地 域 6,643,308人	202か国・地 域 9, 639, 949人	204か国・地 域 12,065,656 人	204か国・地 域 12, 463, 944 人	100か国・地	2013年9月、ブエノスアイレスでのIOC総会における、総理による2020年 東京大会の招致スピーチにおいて、東京大会に向けて発展途上国を含む 「100か国以上、1,000万人以上」へのスポーツを通じ、国際貢献を行う ことを目標としているため。 【出典】独立行政法人日本スポーツ振興センター報道発表		
	年度ごとの 目標値	_	_	_	_	_	域 10,000,000人			

達成手段 (開始年度)	関連する 指標	行政事業レビュー 番号	備考		
スポーツ産業の国際展基促進事業 (令和3年度)	①②	新03-0013	_		
スポーツ・フォー・トゥモロー等推進プログ ラム (平成27年度)	3	0339	_		
スポーツ国際展開基盤形成事業 (国際情報戦略強化事業より改称:平成27年度)	①②	0338			
2020年東京大会関係者を対象とした風しん・ 麻しんに関する特別対策事業 (令和元年度)	①~③	0341	_		
平成三十二年東京オリンピック競技大会・東京パ ラリンピック競技大会特別措置法の改正	2	_	_		
平成三十一年ラグビーワールドカップ大会特 別措置法の改正	2	_	_		
昨年度事前分析表からの変更点	達成手段に新規事業を追加。				